

地域で守る！安全・安心なまち

市では、市民が安全に安心して暮らすことのできるまちづくりを目指して、青色回転灯装備車両、通称「青パト」による安全・安心パトロールを実施し、市内の犯罪抑止に努めています。 総合防災安全課 ☎481-7547

市が実施している青色防犯パトロール

子ども安全・安心パトロール

下校時間帯から夜間にかけて、子どもの安全を守るため、小・中学校や児童館などの施設、通学路を重点的にパトロールしています。

- パトロール体制(原則)

学校の下校が始まる時間帯から午後9時30分までの間、市内を4つに分け、警備員8人、車両4台でパトロールを実施。

夜間安全・安心パトロール

侵入窃盗、放火、ひったくり、車上狙いなどの犯罪被害を防ぐため、夜間から翌朝にかけて、市内全域の防犯パトロールを実施しています。

- パトロール体制(原則)

午後9時30分から翌朝までの間、深夜帯を中心に市内を南北2つに分け、警備員4人、車両2台でパトロールを実施。

自主青色防犯パトロール団体の方に聞きました

地域の方による防犯活動の一環として、青パトを使った自主防犯活動に取り組んでいる団体があります。青色防犯パトロールを始めるには、警察への申請が必要です。詳細は調布警察署防犯係 ☎488-0110 または総合防災安全課 ☎481-7547 にご相談ください。

調布警察署管内

タスクネット東京



Q: 活動内容について教えてください
A: 平成25年7月から週1回夜間に1時間程度、深大寺東町・北町と南町の一部をパトロールしています。

Q: 青色防犯パトロールを始めたきっかけは
A: ニュースでさまざまな事件が起きているのを見て、地域の見守りをしたいと考えていました。そんな時に地域でも青パトによるパトロールができることを市のホームページで知ったことがきっかけです。

Q: パトロール中、心掛けていることは
A: 地域を見守る防犯のパトロールだけでなく、街灯が切れていないかのチェックやごみの不法投棄などがないかも確認して巡回しています。



コンビニエンスストア防犯協会の



Q: 活動内容について教えてください
A: 夏と冬の年2回、コンビニエンスストアのオーナー約10人が調布市・狛江市全域8つのルートを実行しています。パトロールでは管内に約130店舗あるすべてのコンビニに立ち寄り、店舗内の防犯ミラーや防犯用カラーボールの確認もしています。

Q: パトロール以外にも安全・安心なまちづくりのためにしていることは
A: 特殊詐欺の被害を防ぐために、電話しながらATMを操作している高齢者がいた場合や、大量のギフト券を購入しようとしている方には声を掛ける場合があります。コンビニに来店した方も、ATMの操作に手間取っている高齢者に気づいたら店員に一声掛けてもらえることがあります。



調布の治安を守る新撰組



Q: 活動内容について教えてください
A: それぞれの仕事などの都合に合わせて下校時間や夜間などに、年間120回程度市内全域をパトロールしています。人通りの少ない道や人目につきにくい場所もくまなく回っています。また、安心感を持ってもらえるように、パトロールしたことをお知らせするカードを配布することもあります。

Q: 青色防犯パトロールを始めたきっかけは
A: 調布の治安をよくすることで、市外の人に住みたい・来たいと思ってもらえるようにしたいと考えたことがきっかけです。

Q: 成果を感じるときは
A: 巡回中は車道から見えづらい歩道なども注意して見るようにしています。そうするうちに小さなまちの変化にも気が付くようになりました。また、コロナ禍の今、青パトで巡回することで路上飲み防止にもつながっていると感じます。



家族や地域で団結して 詐欺被害を防ごう

問 調布警察署 ☎488-0110
 総合防災安全課 ☎481-7547

調布市内で8月中だけで12件、2344万円の被害が発生！



高齢者の大切な年金が狙われています。ATM周辺で携帯電話を使用して通話をしている高齢者を見かけたら、声を掛けましょう。勇気を出したその声掛けで、詐欺被害を防げるかもしれません。「電話一本で大金を騙し取る卑劣な犯罪は決して許さない」という意識を地域で高め、みんなで安全・安心なまちを作りましょう。

被害に遭わないために、これだけは覚えてください

- キャッシュカードは誰にも渡さない
- 暗証番号や預金残高は誰にも教えない
- ATMでお金は戻らない
- 電話でお金の話をされたら、一旦、電話を切って確認する

特殊詐欺撃退 自動通話録音機を無料で貸し出し中

自宅の固定電話に取り付けることで、電話の相手方に警告メッセージを流し、会話内容を録音することができます。家族や地域包括支援センターなどからの代理申請も受け付けています。

■おおよそ65歳以上の方がいる世帯 無料

■申込書(総合防災安全課(文化会館たづくり西館3階)で配布または市庁から印刷可)と身分証明書(住所、氏名、年齢が分かるもの)などを総合防災安全課へ持参

■自治会やサークルなどのグループで申し込みがある場合は、その地域への出張貸し出しも可



時間や場所を選ばずに自宅で安全教育を 警視庁で「けいしちょうWeb教室」を公開中

「けいしちょうWeb教室」は多くの子ども達に安全教育を受けてもらうため、防犯・交通安全・ネットの危険性などをジャンル別にまとめたウェブサイトです。警視庁(下のQRコードからアクセス)からご覧ください。

▶警視庁公式ホームページ版 (動画形式:YouTube)



▶警視庁公認サイト版 (動画形式:サーバー埋め込み動画)



詐欺被害は自宅にかかってくる一本の電話から始まります

市では、調布警察署からの情報提供のもとに、青パトの音声広報、防災行政無線、調布市防災・安全情報メールを利用して、アポ電が多く入電している地区に注意喚起をしています。高齢者はもちろん、家族、近所の方など地域の方みんなで注意をしましょう。



調布市防災・安全情報メールにご登録を

市からの緊急情報、防犯情報、地震情報(調布市震度3以上)、気象情報(特別警報、警報、注意報)、災害情報、国民保護情報などを配信します。

登録方法 / 下のQRコードからアクセスまたは

☎c-bousai@sg-m.jpに空メールを送信し、自動返信されるメールから登録



●地域の各団体が合同でパトロールを実施 青パト隊員、PTA、わんわんパトロール隊などの地域の方々が協力し、定期的に富士見町周辺で合同パトロールを行い、地域の防犯活動に参加しています。

上石原2丁目自治会さくら会



Q: 活動内容について教えてください
A: メンバーの2人に加えて児童養護施設二葉学園の職員4人も一緒にパトロールを行っています。今回取材を受けた車両では毎週土曜日、夕暮れ時や夜間に1時間～1時間30分パトロールしています。巡回地域は上石原、飛田給と下石原、多摩川の一部です。

Q: パトロール中、心掛けていることは
A: 子どもの犯罪被害の防止だけでなく、休みの日の過ごし方など子どもたちの行動にも注意してパトロールしています。

Q: やりがいを感じるときは
A: 「継続は力なり」というように、このような地域活動を続けていくことで、地域の方と顔見知りになって、あいさつなど声を掛けてもらうことがやりがいに繋がっています。



ふじみパトロール隊



Q: 活動内容について教えてください
A: 平成28年から青パトの活動をはじめました。活動している人数は5人です。週2回、児童の下校時間にあわせて午後3時頃から1時間程度、富士見町地域の小・中学校、公園などを中心に巡回しています。

Q: パトロール中、心掛けていることは
A: 子どもの安全確認や不審者への注意以外にも、高齢者が迷っていないかどうかなど地域全体を見るようにしています。

Q: パトロールをしていて感じることは
A: 青いベストを着て巡回することで、地域で防犯に力を入れているというアピールになり、不審者だけでなく特殊詐欺犯などへの脅威に感じています。



愛犬との散歩の時間を活用した「わんわんパトロール」



わんわんパトロールは、愛犬との散歩時間を活用したパトロールです。市ではパトロール用品の貸し出しのほか、ボランティア保険加入などの支援を行っています。

■申請書(市庁から印刷可)を直接または郵送、FAXで〒182-0026小島町2-33-1文化会館たづくり西館3階総合防災安全課 ☎481-7255へ